JIPAT
The Japan Interior Planners Association Tokyo
News Letter vol. 056
東京インテリアプランナー協会　東京都品川区東五反田 5-25-19　東京デザインセンター３Ｆ　〒 141-0022

新年あけましておめでとうございます。旧年中はニューズレターご愛読誠にありがとうございました。今年も委員一同気持ちを新たにいたしまして、ニュースを配信させていただきます。よろしくお願い致します。　情報委員会

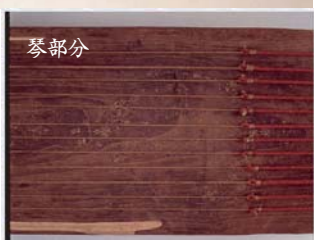
## ■ 旬を求めて　飛び出せ企業訪問　　㈱三越環境デザイン

去る１２月４日（火）、会員交流委員会による施設見学会を実施。法人会員の株式会社三越環境デザインにて特注家具などの匠の伝承を体験してきました。正会員（10名）・一般会員（2名）・ビジター（1名）・法人会員（20名）の全33名が参加。
当初の予定を上回る盛況な見学会になりました。
現在では近代的な木工機械が中心となりましたが明治４３年創業当時の技は脈々と引き継がれていることに驚きと新鮮さを感じた方々が多かったことと思います。
同じものを均質につくる現代量産工程とは違い、今回は伝統の匠の技『椅子の藁土手作り、馬毛でクッション』『箔押し』など、100年を経た椅子の再生が目玉でした。また特注家具を作るための特殊な道具の数々はまさに職人の手わざ道具。ハイテクを駆使した設備と相伝の職人芸、長い時の流れと共に受け継がれてきた職人の技と大自然の香りを漂わせる木肌に優美な気品を刻む。
その心は常に最高級なものを追求し、本物を造り上げて来た株式会社三越環境デザインならではの匠でした。
その後の懇親会には大勢の方々が参加され、和気藹々の内に進められました。
三越環境デザインからは会長ほか常務・工場長まで出席頂き最後まで御付き合い頂きました。二度と経験できないこんなすばらしい機会をつくって頂いた関係者の皆様、ありがとう御座いました。

事務局としては正会員の方々の出席が少なかったのが残念！
また、キャンセル時に連絡して頂けないのが少し淋しく思います。
今後もステキな見学会を企画していきますので、「正会員の方、宜しくお願い致します。」

村下恒雄（法人会員㈱川島織物インテリア）

## ■ 知ってて知らない道具たち




NHKのラジオを聞いていたら、正倉院の宝物庫にある楽器を再現して、その楽器で演奏する企画があり拝聴した。新羅琴の優雅な響きに今から1000年以上前の音を偶然聞く事ができた。全く現在の音色と違わないことに驚き、また当時の優雅な生活様式が伺えた。それらの楽器はインドや中国や朝鮮から渡ってきたもので渡来品である。
　渡来と言えば正月に欠かせないのが、日本橋のデパートなどで恒例となっている七福神詣でがある。この七福神も我が国独自の神様は恵比寿さまだけであるそうで、他の神様はやはり渡来神様で、宝船でこられたそうです。鎌倉時代にインド?中国という長い旅を経てやってきた「大黒天」と、「弁財天」の信仰が加わりました。つまり、この段階では、七福神のうち、わずか三人のみが信仰されていた、というわけです。
さて、室町時代に入りますと、それでもこの三人に対する信仰が強くなり、しだいに庶民の間でも広まってきたようです。ようやくこのころ、インドからもう一人、七福神のうちの「毘沙門天」が信仰され始めます。さらには、中国の「福禄寿」「布袋尊」「寿老人」の三人が加えられ、今現在の「七福神」という形になってきたようです。七福神を一気にメジャーな民間信仰として地位を築いたのには、一説には次のような話が伝わっています。江戸時代、時の天下人徳川家康に対し、上野寛永寺の開祖天海僧正が、「あなたは長寿、富財、人望、正直、愛敬、威光、大量の七福を備えられ、天下統一という偉業を成し遂げたが、これは、神仏では、**恵比寿・大黒**（商売繁盛の神様）　**毘沙門天**（国土守護の軍神　宝物、財物、幸運などを恵む神様）**弁財天**で親しまれているべんてんさん。（財宝を施す福の神だけではなく、弁舌、学問、音楽など、芸術の神）**福禄寿、寿老人**は、その名前が示すとおりに、（「福＝（幸福）」、「禄＝（幸運、身分）」、「寿＝（寿命）」長寿を授ける神様、）
**布袋尊**「ほていそん」です。一般には「ほていさん」でなじみがある神様です。太ってでっぱった太鼓腹、大きな福耳、そこから（福徳円満です）
あなたはその徳を持っている。これら七福神を祀れば、「七難即滅、七福即生は間違いない」と七福神の七つの福徳が人生にとって大切であることを語った。家康は絵師に七福神の絵を描かせて祀った。描かれた七福神は評判となり、模写して全国に宣伝された。そして、正月に拝して一年の幸せを祈るようになり、庶民、大名問わず、広く七福神が信仰されるようになったそうです。

## ■ あぐらで、ゆったりお茶を楽しんで。

座礼棚」は、座礼棚・客卓、クッション（低反発素材）から成り、
主客双方の足の具合や部屋の佇まいに応じて配置し、
亭主も客も安座のままお茶を楽しむ、

千利休以来４００年を超える茶道史で家元として初めて、主客ともあぐらで行う「座礼（ざれい）式」を提唱、裏千家センター（同区）で道具の「座礼棚」とともに発表した。いす生活で正座の苦手な人が増える中、気軽なスタイルで伝統文化への間口が広がればと期待している。

　あぐらのお点前は、千宗室家元が１０年ほど前からアイデアを温めていた。数年前から道具を試作、あぐらでも安定する低反発性ウレタン素材で座布団をつくった。 創案のきっかけを千宗室家元は「初釜の時、足を楽になさってくださいと申し上げると、みなさんほっとした表情をされる。そのくつろいだ空気がお茶では大切」と説明。友人たちから、気軽に楽しめるお茶をと求められていたことも背景にある。茶席でのあぐらは、戦国武将が陣中の茶席などでしていたと考えられるが、江戸期に家元制度が整うと正座が基本に。

座礼式での点前は、高齢者や子供のために工夫された作法「入子点（いれこだて）」をアレンジした。

道具の「座礼棚」は、点前座が和洋室兼用の木製黒塗りと、洋間に似合う透明アクリル板製の２種類。３つの台を横に連ねた総幅１３７センチで、低くした中央の台（高さ１２センチ）で茶をたてる。これに、菓子などを載せる客卓と、前を低く後ろを高く斜めにカットした座布団を組み合わせた。

あぐらで点前する「座礼棚」を考案した裏千家の千宗室家元

裏千家は明治初期に十一代家元玄々斎が、文明開化に合わせて机いす式の立（りゅう）礼式を考案、現在も京都迎賓館などでのもてなしや各地の茶会で行っている。立礼式同様、座礼式も、自由な取り組みとして許状は出さない。

　千家元は「あぐらで自由に茶道に親しんでいただき、伝統文化に関心を広げてもらえたら」と。京都新聞から転記

## ■ 町名由来板 石町の鐘（現室町）

除夜の鐘をききながら昔はどうして時間を知らされたのか知りたくなった。

－お江戸日本橋七つ発ち－と歌われている七つは現在では明け方4時である。日本橋には魚河岸があり4時に木戸が開けられ、往来はもう人の行き交いは激しくなっていたようで。ちなみに木戸が閉まるのは夜四つ（午後10時）

　さて、二代将軍秀忠の時代に、江戸の町に刻を知らせる時の

明け六ッ(日の出)、暮れ六ッ(日没)が基準。それぞれを6等分したのが一刻。したがって、季節によって一刻の長さは異なる。
(冬は夜の方が長い)一刻≒2時間　半刻(はんとき) ≒1時間
　四半刻(小半刻)≒30分
30分以下の表現はありませんでした。

鐘が本石3丁目（現 日本橋室町四丁目）に最初に設置されたと言われる。

後には江戸市内数カ所に設けられる。　花の雲、鐘は上野か浅草か。芭蕉

（寛永寺と浅草寺の時の鐘）

写真のこの鐘はその本石町の鐘で、宝永八年（1711） に改鋳されたもので、明治初期まで使用された。

地下鉄小伝馬町駅のすぐ前に十恩（じっし）公園がある。小伝馬町牢屋敷跡で設置保存されている。鐘は捨て鐘と云って三つ打ってから（注意喚起のため）それぞれの刻限の数を鳴らした。

## ■ 途中下車

インテリアプランナーに強い味方ができました。

昨年4月に法人会員としてレイオンコンサルティング（株）が加わりました。

情報委員会の忘年会で橋口代表取締役にお話を聞きました。

我々仕事上でよくある最終段階で見つかる”瑕疵”。運送会社の不注意、配送途中の荷崩れによるもの、施工業者の材料搬入時の当て傷、等々数え切れない事故、受渡しの後の苦情（一番難しい）、これらを迅速に処理してくれるスーパーマン集団です。常時150数名のプロフェショナルを常駐させそれらの瑕疵を修理してくれる会社です。

インテリアリフォーム・室内現状復帰コンサルティング，インテリアサービスとして、内覧対策検査・インテリアクリーニング・インテリアオプション商品の販売、説明。などのサポートをしてくれるパートナーです。

**レイオンコンサルティング株式会社**
東京都渋谷区神南1-15-3　神南プラザ5階
TEL 03-5784-0731 FAX 03-5784-0732
URL: http://www.leyon.com/こちらでは作業の動画を見れます。

## ■ 編集後記

今、日本は歴史上何度目かの危機に見舞われています。ちょっとした株の変動が国民生活に不安要素を投げ掛けています。藤原正彦の「国家の品格」を読んで、そこには、武士道があり文化、教養のことを教えてもらった。だからか、今回のNLの原稿は日本の伝統にかたよってしまった。

情報委員　井上 常雄

**入　会**
正 会 員／柴田香織氏、藤丸正裕氏（再入会）、佐藤昌一氏
一般会員／青柳有美氏　　法人会員／ Key－Kilt　LLC

**退　会**
正 会 員／田中敏夫氏、湯本長伯氏、岩谷豊彦氏
一般会員／三橋純子氏　　法人会員／日本アメリカンスタンダード

正 会 員341名　一般会員37名　法人会員121名 学生会員2名 合計501名

発行者：東京インテリアプランナー協会　会長　浦　一也　　編集者　：情報委員会